

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



川嶋秀紀泌尿器科部長

白浜はまゆう病院

部長に川嶋医師

泌尿器科 常勤2人体制に

白浜はまゆう病院(白浜町)の泌尿器科にこのほど、前大阪市立大学大学院医学研究科准教授の川嶋秀紀医師(57)が着任した。今月から泌尿器科部長として勤務している。同科の常勤医師はこれで2人になった。病院は「今後は手術にも積極的に対応、専門外来も充実させ地域のニーズに

応えたい」としている。

川嶋医師は和歌山市出身。大阪市立大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科博士課程修了。米国のペイラー医科大学助手、テキサス大学医学部博士研究員、大阪市立大学大学院医学研究科講師を経て2007年7月に准教授。

大学では主に前立腺と男性(または女性)ホルモン受容体、腎がんの免疫療法の基礎などについて研究した。泌尿器科の診療では、大阪市立大学医学部付属病院で川嶋医師が中心になって01年か

ら腹腔(ふくくう)鏡手術を開始。川嶋医師が執刀・指導した症例は約400例に上るといふ。

排尿障害や神経因性ぼうこうの専門外来も担当。女性の腹圧性尿失禁の手術やぼうこう脱、子宮脱といった骨盤臓器脱の腹腔鏡手術もしている。

白浜はまゆう病院の泌尿器科は月々金曜の午前中は常勤医師が、土曜午前中は非常勤医師が診療している。今後は午後に専門的な診察と治療も実施する予定。

川嶋医師は「質の高い診療・手術をするとともに、幅広く泌尿器科の専門診療を実践していきたい。地域内診療所とのいわゆる病診連携もしていきたい」と意欲を見せている。